

1960年ごろから自動車じどうしゃがふえてきました。ひとつの家に2台も3台もあるのもめずらしくなくなりました。

それまでの道路どうろは、小石こいしをしいたじゃり道が多く、晴れた日はほこりっぽく、雨の日は水たまりが
でき、歩くのにもたいへんでした。そのため、1967年しょうわ（昭和42年）ごろから今のようにコンクリートやアスファルトのたいらでかたい道路
になおされ、車くるまや人は通りやすくなりました。

河東町の自動車のふえ方

(台数)

	自動車	軽自動車 <small>けい</small>
昭和50年	1142	372
昭和60年	3980	1014
平成9年	4013	2147

〔資料：河東町役場税務課〕

〈高速道路こうそくの開通かいつう〉

1992年（平成4年）10月、高速道路「磐越自動車道ばんえつじどうしゃどう」が会津坂下ばんげまで開通しました。河東町には、「磐梯河東インターチェンジばんだいかわひがし」が開設かいせつされました。これにより、自動車のおうらいもさかんになり、町をお

どずれる人もふえています。

1997年（平成9年）10月には、いわき市から新潟市にいがたしまで全線ぜんせん開通しました。



◀ 磐梯河東ばんだいかわひがしインターチェンジ